



# エコ・ファーストの約束(更新書)

～環境先進企業としての地球環境保全の取組～

平成24年3月7日

環境大臣 細野 豪志 殿

住友ゴム工業株式会社  
代表取締役社長

池田 育嗣

## 1. 低炭素社会の構築に向けた取組を積極的に推進します。

- CO<sub>2</sub>の排出量原単位を2015年度に1990年度比55%以下にします。  
コージェネレーションシステムを有効活用するとともに、省エネルギー活動を活発に推進します。  
また、CO<sub>2</sub>排出量削減の革新的技術開発を積極的に進めます。
- 50%転がり抵抗低減タイヤの2015年度上市を目標に開発を進めます。  
低燃費技術を結集し、転がり抵抗を従来品に比べ50%低減させるとともに、転がり抵抗と相反する特性のウェットグリップ性能を向上させることにより、タイヤ使用時に排出されるCO<sub>2</sub>を大幅に削減します。

## 2. 循環型社会の形成に向けた取組を積極的に推進します。

- 国内・海外の関係会社を含む主要生産拠点において、廃棄物の直接埋め立て量の「完全ゼロ」を2015年度まで継続します。  
国内・海外の関係会社を含む主要生産拠点において、2010年に完全ゼロエミッションを達成し、業界に先駆けて再資源化率100%を達成しました。引き続き2015年まで完全ゼロエミッションを継続します。
- 100%石油外天然資源タイヤの2013年度上市を目標に研究を進めます。  
枯渇のおそれのある化石資源依存から、再生可能資源の高度利用による100%石油外天然資源タイヤの上市を行い、原材料、使用時の低燃費化の両側面から環境への負荷を最小限に抑える究極のエコタイヤを開発します。

## 3. 自然との共生を進め、生物多様性に配慮した取組を推進します。

- 自然との共生を進め、どんぐりプロジェクトで毎年2万本以上の植栽を進めます。  
近隣地域で集めたどんぐりを自社の敷地内で苗木に育て近隣に植樹する「未来を植える! どんぐりプロジェクト」を中心とした活動により、生物多様性の保全を図りながら毎年2万本以上の植栽を進めます。
- 生物多様性に配慮したさまざまな取組を積極的に展開します。  
里山保全活動、在来種の自生地づくり、絶滅危惧種の保護、ビオトープづくりなど、さまざまな生物多様性に配慮した活動を各拠点で展開します。

住友ゴム工業株式会社は、上記取組の進捗状況を確認し、その結果についてCSR報告書などで定期的に公表するとともに、環境省へ報告します。